



NUAGE

NUAGE MASTER

CONTROL SURFACE
Ncs500-CT

NUAGE FADER

CONTROL SURFACE
Ncs500-FD

NUAGE I/O

AUDIO INTERFACE
Nio500-D16/A16/A8D8

V1.7 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、NUAGE V1.7で追加/変更された機能を中心に説明します。
NUAGE関連の各マニュアルと併せてご利用ください。

主な変更点

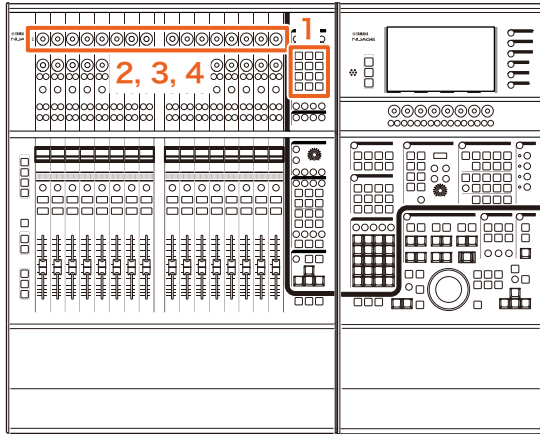
・ VCAフェーダーへのチャンネル割り当て機能を追加	(Nuage Fader)	2ページ
・ SECTION CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加	(Nuage Fader)	2ページ
・ CHANNEL VIEW CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加	(Nuage Fader)	3ページ
・ CHANNEL VIEWメモリーを拡張	(Nuage Fader)	3ページ
・ 全チャンネルタイプの一括表示機能を追加	(Nuage Fader)	3ページ
・ フォルダートラックの開閉機能を追加	(Nuage Master)	4ページ
・ クイックコントロールのパラメーターの設定方法を変更	(Nuage Fader, Nuage Master)	4ページ
・ 「ミキサー」画面幅の調整機能を拡張	(Nuage Fader)	5ページ
・ GPIOに対応	(Nuage Master)	6ページ
・ トラックごとのオートメーションモードを設定できる機能を追加	(Nuage Master)	8ページ
・ Control Roomチャンネルのインサート操作を追加	(Nuage Master)	8ページ
・ CONTROL ROOMページにパラメーターを追加	(Nuage Master)	9ページ
・ プロジェクトファイルの保存に関する設定を追加	(Nuage Master)	10ページ
・ Avid Pro Toolsのショートカットキーに対応	(Nuage Master)	10ページ
・ Avid Pro Toolsのインサートに対応	(Nuage Fader)	11ページ
・ NUAGE PT Bridgeの画面の表示方法を追加/変更	(NUAGE PT Bridge)	14ページ
・ Danteネットワークインターフェースのロック機能を追加	(Nuage I/O)	14ページ
・ ダイレクトモニタリングの設定を初期化する機能を追加	(Nuage I/O)	15ページ

VCAフェーダーへのチャンネル割り当て機能を追加(Nuage Fader)

Nuendo (7以降)で作成したVCAフェーダーに、Nuage Faderを使って、チャンネルを割り当てたり、割り当てを解除したりできるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



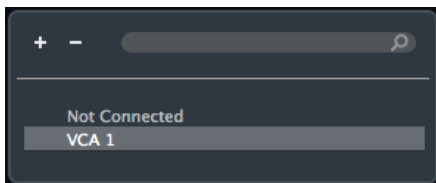
1. SECTION CONTROLセクションの[VCA]を押します。

NOTE

SECTION CONTROLセクションのボタンのどれかに、あらかじめ「VCA」を割り当てておく必要があります(2ページ)。

2. VCAフェーダーに割り当てたい(または割り当てを解除したい)チャンネルの[マルチファンクションノブ](上段)を押します。

「ミキサー」にポップアップが表示されます。



NOTE

VCAフェーダーが作成されていない場合は「未接続」だけが表示されます。

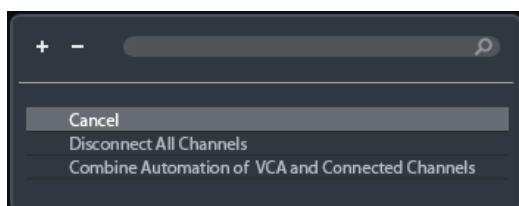
3. [マルチファンクションノブ](上段)を回して、チャンネルを割り当てるVCAフェーダー (または「未接続」)を選択します。

4. [マルチファンクションノブ](上段)を押します。

選択が決定され、チャンネルがVCAフェーダーに割り当てられます。(または、割り当てが解除されます。)

NOTE

VCAフェーダーに対応する[マルチファンクションノブ](下段)を押すと、下記のポップアップが表示され、VCAフェーダーの設定を変更できます。

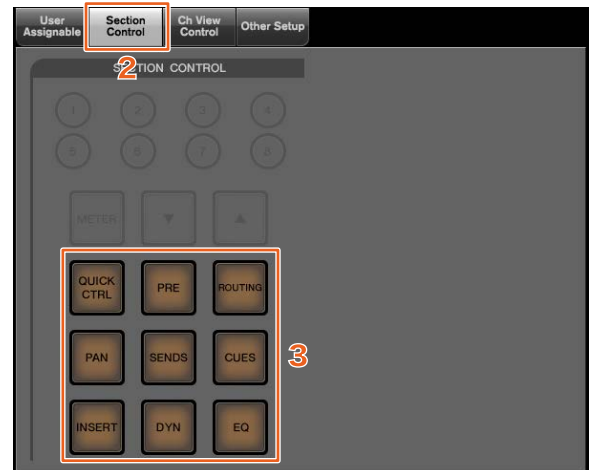


SECTION CONTROLセクションのキーの割り当て変更機能を追加(Nuage Fader)

SECTION CONTROLセクションのキーの割り当てを変更できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。

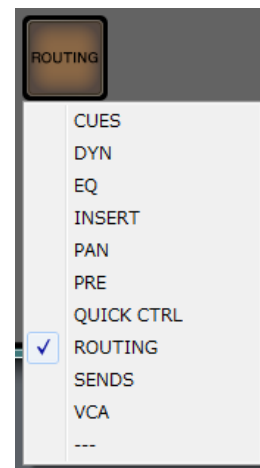


1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。

2. 「Section Control」タブをクリックします。

3. 変更したいキーをクリックします。

機能の候補がポップアップリストで表示されます。



4. キーに割り当てる機能をリストから選択します。

NOTE

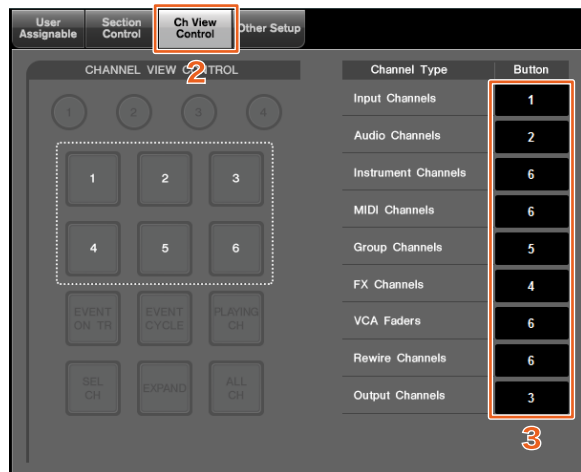
- 「---」を選択すると、割り当てが解除されます。
- 割り当ての変更に合わせて、Nuage Fader本体のキーラベルも変更することをお勧めします。Nuage Fader本体のキートップは取り外し可能です。

CHANNEL VIEW CONTROL セクションのキーの割り当て変更機能 を追加(Nuage Fader)

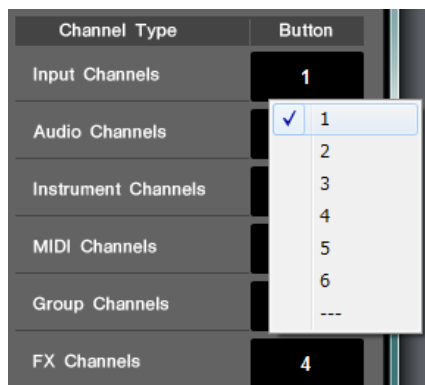
CHANNEL VIEW CONTROLセクションのキーの割り当てを変更できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. NuendoまたはCuabaseメニューの「デバイス」→「NUAGE FADER Setup」をクリックします。
2. 「Ch View Control」タブをクリックします。
3. キーに割り当てる「Channel Type」横の「Button」欄の数字をクリックします。
キーの番号がポップアップリストで表示されます。



4. 該当するChannel Typeを割り当てるキーの番号を選択します。

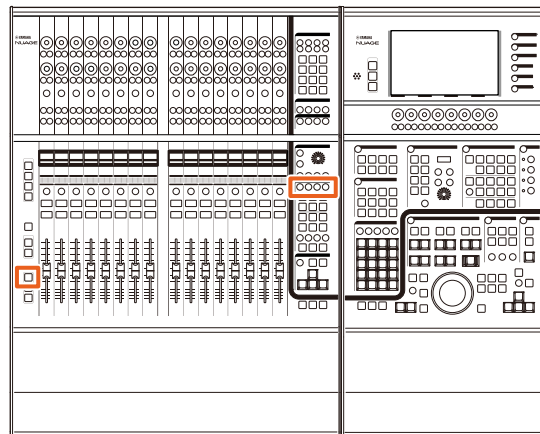
NOTE

- 1つのキーに複数のChannel Typeを割り当てられます。
- 割り当ての変更に合わせて、Nuage Fader本体のキーラベルも変更することをお勧めします。Nuage Fader本体のキートップは取り外し可能です。

CHANNEL VIEWメモリーを拡張 (Nuage Fader)

チャンネルの表示状態を記録/呼び出しできるCHANNEL VIEWメモリーの数が増えました。

操作方法



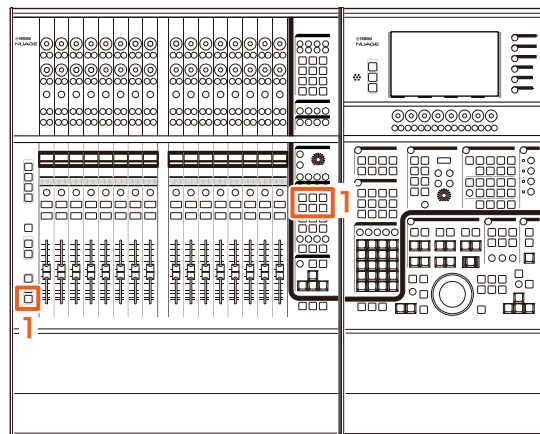
- メモリー 1～メモリー 4の操作は、変更ありません。2秒以上の長押しで記録、短く押すと呼び出しになります。
- [SHIFT]を押しながら[CHANNEL VIEWメモリー 1]～[CHANNEL VIEWメモリー 4]のどれかのキーを押すと、メモリー 5～メモリー 8の記録/呼び出しができます。

全チャンネルタイプの一括表示機能 を追加 (Nuage Fader)

CHANNEL VIEW CONTROLセクションの[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]に対応するチャンネルタイプを一括して表示できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



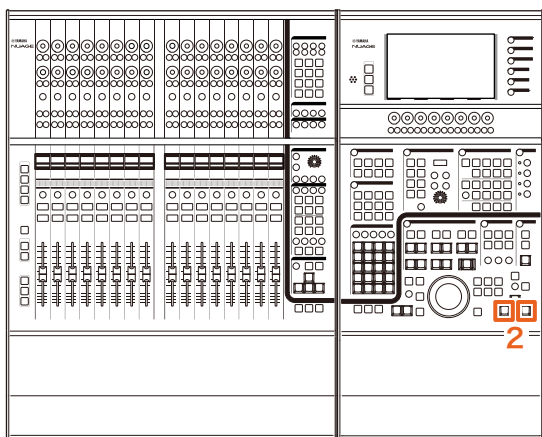
1. MODIFIERセクションの[ALT]を押しながら、[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]のどれかを押します。
[INPUT]、[AUDIO]、[OUTPUT]、[FX]、[GROUP]、[OTHERS]に対応するチャンネルタイプがすべて表示されます。

フォルダトラックの開閉機能を追加 (Nuage Master)

プロジェクトウィンドウでフォルダトラックを選択しているとき、Nuage Masterの操作でフォルダトラックを開閉できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



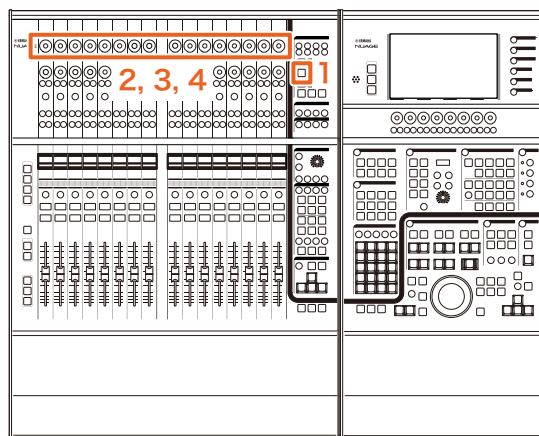
1. NuendoまたはCubaseのプロジェクトウィンドウでフォルダトラックを選択します。
2. GENERAL CONTROLセクションの[◀]と[▶]を同時に押します。
フォルダトラックが閉じているときは開き、開いているときは閉じます。

クイックコントロールのパラメーターの設定方法を変更 (Nuage Fader, Nuage Master)

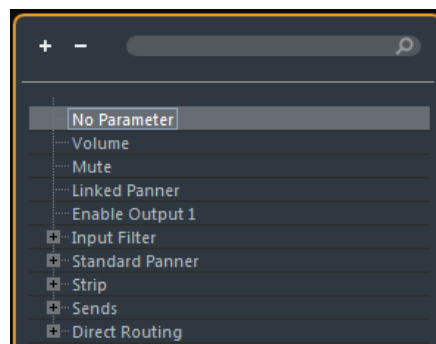
「クイックコントロール」のパラメーターの割り当てを、Nuage FaderやNuage Masterから設定できるようになりました。

操作方法(Nuage Fader)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



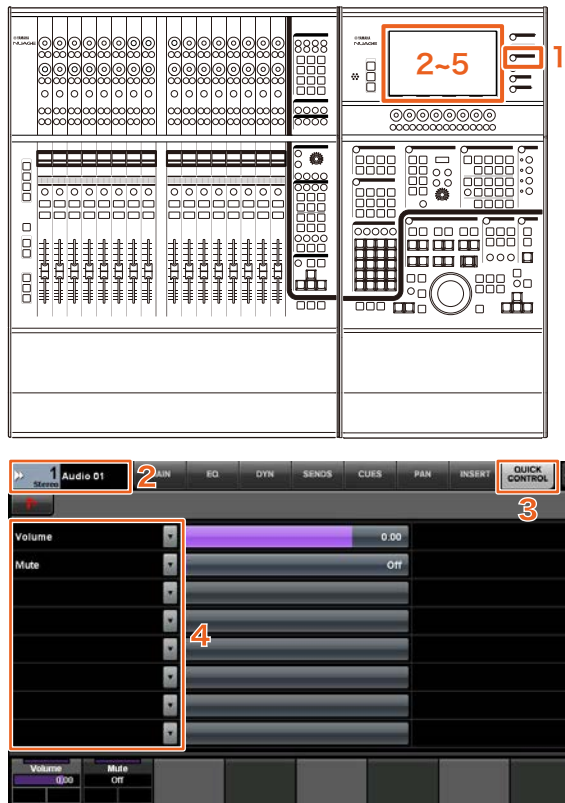
1. SECTION CONTROLセクションの[QUICK CTRL]を押します。
2. パラメーターを変更する[マルチファンクションノブ] (上段)を押します。
「ミキサー」にポップアップが表示されます。



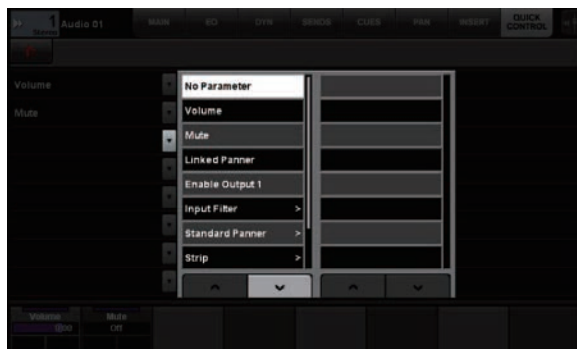
3. [マルチファンクションノブ](上段)を回して、割り当てるパラメーターを選択します。
4. [マルチファンクションノブ](上段)を押します。
選択が決定され、パラメーターが[マルチファンクションノブ]に割り当てられます。「パラメーターなし」を選択している場合は、割り当てが解除されます。

操作方法(Nuage Master)

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「チャンネル情報」をタッチして、「QUICK CONTROL」を変更するチャンネルを選択します。
3. [マルチファンクションディスプレイ]内の「QUICK CTRL」タブをタッチします。
4. [マルチファンクションディスプレイ]内で、変更する「クイックコントロール」のパラメーターをタッチします。
ポップアップが表示されます。



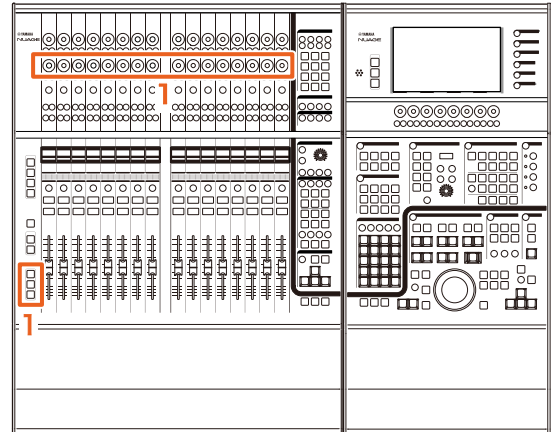
5. 割り当てるパラメーターをタッチして選択します。

「ミキサー」画面幅の調整機能を拡張(Nuage Fader)

従来の項目に加えて、「ミキサー」下端位置も調整できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. MODIFIERセクションの[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]を同時に押したまま、[マルチファンクションノブ](下段)を操作します。

操作する[マルチファンクションノブ]に応じて、「ミキサー」の左端、右端、下端の位置やメーターの縦幅をそれぞれ調整できます。

どの[マルチファンクションノブ]がどの調整項目に対応するかは、「ミキサー」のラベルエリアをご参照ください。

NOTE

MODIFIERセクションの[SHIFT]、[CTRL]、[ALT]を同時に押したまま、SECTION CONTROLセクションの[サブパラメーター 1]～[サブパラメーター 4]を押すと、「ミキサー」を表示するディスプレイを切り替えることができます。

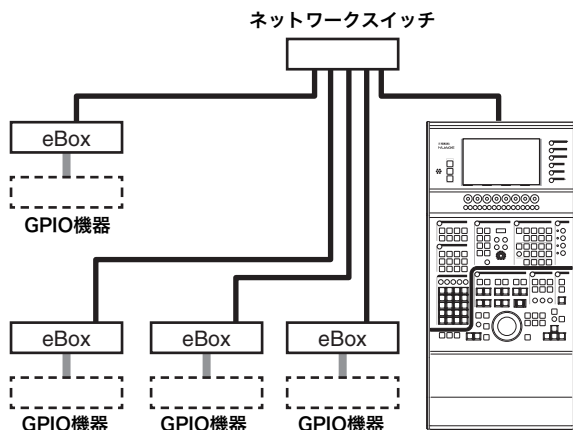
GPIOに対応(Nuage Master)

JL Cooper eBOX/eBOX GPI8を経由して、GPIOの入力をNuage Masterで受けたり、Nuage MasterからGPIOで信号を出力したりできるようになりました。

NOTE

- Nuage MasterがeBOXクライアントになりますので、Nuage Masterと通信するすべてのeBOXをサーバーモードに設定してください。
- 正しく通信できなくなる可能性がありますので、eBOXのパワード機能はオフにしてください。

接続例

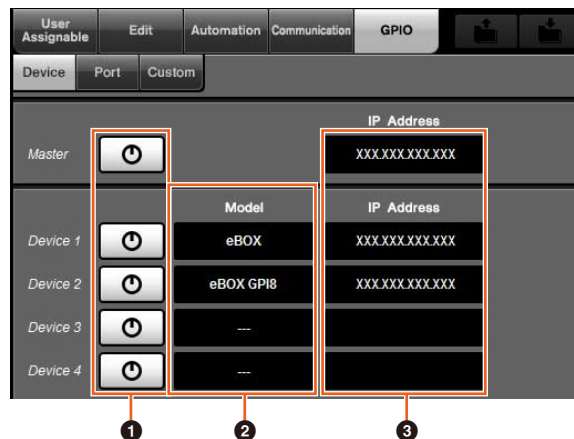


操作方法

1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE MASTER Setup」をクリックします。
2. 「GPIO」タブをクリックします。
3. 以下の各画面の設定を行ないます。

Deviceページ

GPIO機能のオン/オフやGPIO機能を使うための基本的な設定をします。



① オン/オフ

Nuage MasterやeBOXのGPIO機能をオン(点灯)/オフ(消灯)します。

② Model

GPIO機器を接続しているeBOXの種類を選択します。最大4台のeBOXまたはeBOX GPI8を接続できます。

③ IP Address

Nuage MasterとeBOXのIPアドレスを入力します。Nuage MasterとeBOXそれぞれに重複しないIPアドレスを設定してください。

例：

Nuage Master	192.168.254.103
eBOX1	192.168.254.102
eBOX2	192.168.254.104

Portページ

GPIOの機能を選択します。入力、出力それぞれに最大32の機能を選択できます。



① Target

入出力の対象をDAWと「Custom」のどちらにするか選択します。「Custom」の機能の詳細は、Customページで定義できます。

② Function 1

GPIOの機能を選択します。TargetがDAWのときは、「Control Room」が自動的に選択されます。Targetが「Custom」のときは、Customページで定義した機能から選択できます。

③ Function 2

GPIOの機能を選択します。TargetがDAWのときは、タッチしたときに表示されるポップアップリストから機能を選択できます。Targetが「Custom」のときは、「---」が自動的に選択されます。

④ Device

入出力の対象となるeBOXを選択します。この欄の数字は、Deviceページで設定した「Device 1」～「Device 4」に対応しています。

⑤ Port

Device欄で設定したeBOXのポート(GPIO端子のピン)を選択します。ポート1はピン2、ポート24はピン25になります。詳細は、eBOXの取扱説明書をご参照ください。

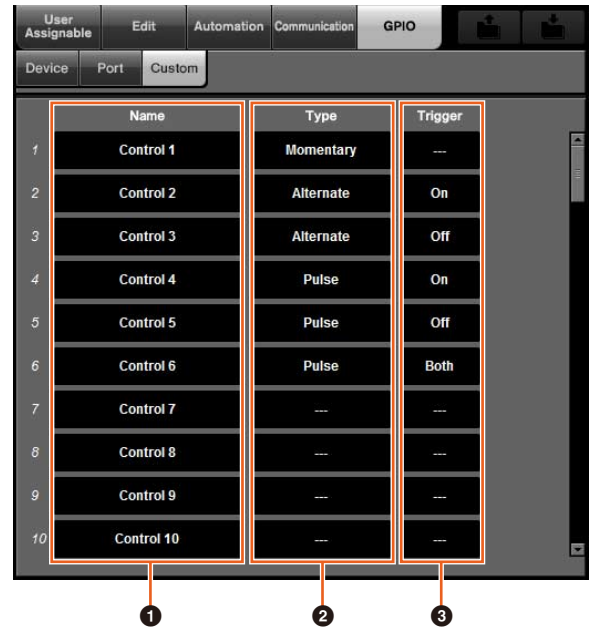
⑥ Terminal

入力ポート電圧による動作と出力ポート電圧を定義します。

High	Inputの場合、入力ポート電圧がHighでオンになります。 Outputの場合、機能がオンのときに出力ポート電圧をHighにします。
Low	Inputの場合、入力ポート電圧がLowでオンになります。 Outputの場合、機能がオンのときに出力ポート電圧をLowにします。

Customページ

GPIO機能を定義します。最大16の機能を定義できます。



① Name

定義するGPIO機能の名前を付けることができます。

② Type

入出力信号の種類を「Momentary」、「Alternate」、「Pulse」から選択します。

Momentary	関連付けられた入力ポートがオンの間、機能をオンにします。
Alternate	関連付けられた入力ポートがTriggerの条件を満たすたびに、機能のオン/オフを反転します。
Pulse	関連付けられた入力ポートがTriggerの条件を満たした直後から一定時間(約250 ms)、機能をオンにします。

③ Trigger

出力オン/オフの条件を定義します。「Type」が「Momentary」のときは、この項目は設定不要です。「Alternate」のときは、以下の条件で出力が反転します。「Pulse」のときは、以下の条件で出力がオンになります。

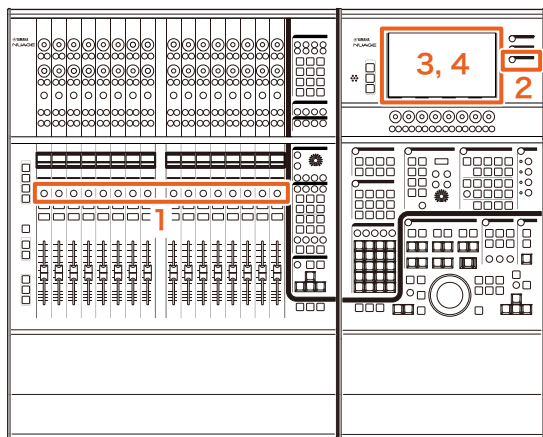
On (Alternate/Pulse)	関連付けられた入力ポートがオフからオンに変わったときに出力を変化させます。
Off (Alternate/Pulse)	関連付けられた入力ポートがオンからオフに変わったときに出力を変化させます。
Both (Pulseのみ)	関連付けられた入力ポートのオン/オフが変わったときに出力を変化させます。

トラックごとのオートメーションモードを設定できる機能を追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]で、トラックごとのオートメーションモードを設定できるようになりました。

操作方法

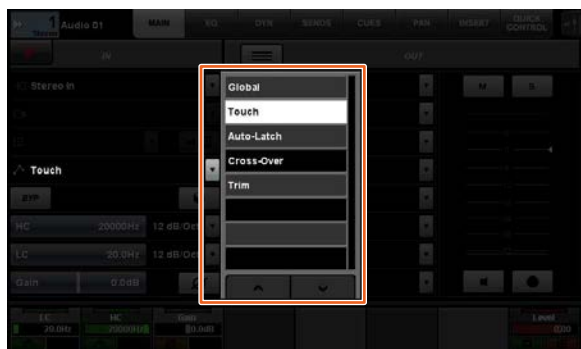
イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. SECTION CONTROLセクションの[SEL]を押して、オートメーションモードを設定するトラックを選択します。
2. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[CHANNEL]を押します。
3. 下の画面の赤枠内をタッチします。



4. トラックに設定するオートメーションモードをタッチします。

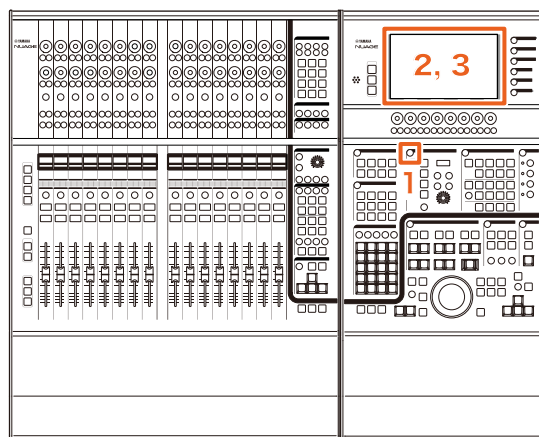


Control Roomチャンネルのインサート操作を追加 (Nuage Master)

[マルチファンクションディスプレイ]で、Control Room各チャンネルへの「インサート」を操作できるようになりました。

操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「INSERT」タブをタッチします。



3. 「インサート」を設定します。詳細は、以下の画面説明をご参照ください。

Control Room — INSERTページ



① Control Roomチャンネル選択

「インサート」を操作する対象チャンネルを選択します。

② Insert

割り当てているプラグインエフェクトが表示されます。タッチすると、プラグインエフェクトを選択する画面が表示されます。

③ プリセット

選択しているプリセットが表示されます。タッチすると、プリセットを選択する画面が表示されます。

④ オン/オフ

「インサート」をオン(水色)/オフ(銀色)します。

⑤ BYP

「バイパス」をオン(橙色)/オフ(銀色)します。

⑥ e (エディット)

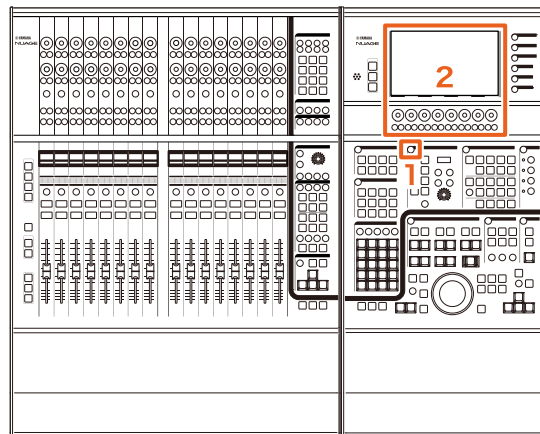
割り当てられているプラグインエフェクトのPLUG-INページを表示します。

CONTROL ROOMページにパラメーターを追加(Nuage Master)

CONTROL ROOMページで、Click Level、Click Pan、Listen Level、Listen Dimを操作できるようになりました。

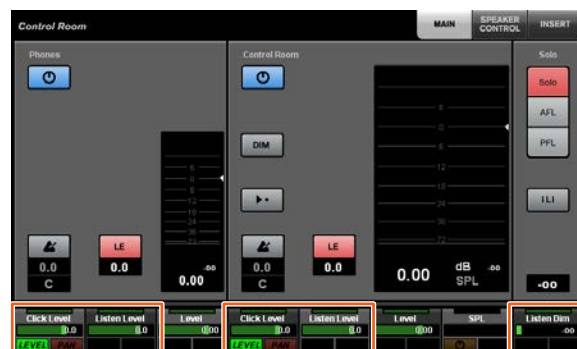
操作方法

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. CONTROL ROOMセクションの[ディスプレイアクセス]を押します。

2. ラベルエリアの表示に対応した[マルチファンクションノブ]でパラメーターを変更します。



NOTE

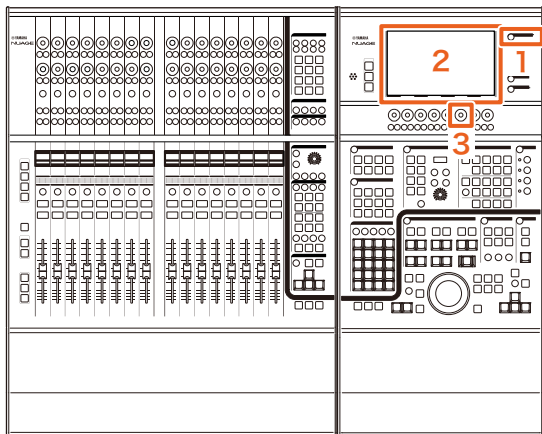
Click LevelとClick Panは、[マルチファンクションボタンA]、[マルチファンクションボタンB]で切り替えます。

プロジェクトファイルの保存に関する設定を追加(Nuage Master)

GENERAL CONTROLセクションの[SAVE]を押したとき、プロジェクトファイルを上書きするか、新規ファイルとして保存するかを選択できるようになりました。

操作方法

イラスト内、画面内の数字は手順番号を表します。



1. MULTI FUNCTION DISPLAYセクションの[SETUP]を押します。
2. [マルチファンクションディスプレイ]内の「PAGE 3」タブをタッチします。
3. 「Save Button Operation」に対応した[マルチファンクションノブ]でプロジェクトファイルの保存方法を選択します。

Save	プロジェクトファイルを上書き保存
Ver.	プロジェクトファイルを新規ファイルとして保存

NOTE

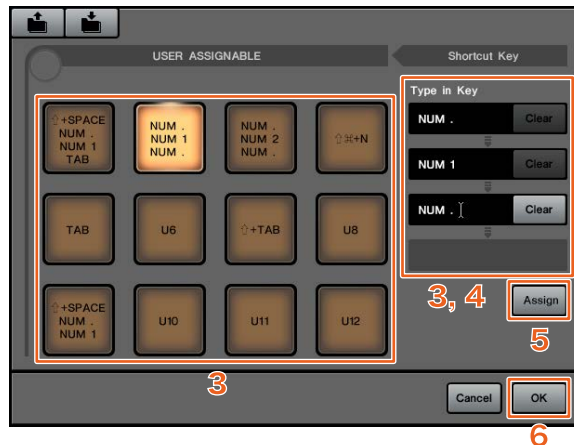
新規ファイルとして保存されるプロジェクトファイルのファイル名は、元のファイル名に“-01”、“-02”といった枝番が付いたものになります。

Avid Pro Toolsのショートカットキーに対応(Nuage Master)

Avid Pro ToolsのショートカットキーをNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに割り当てられるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーのまたはをクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「User Assignable Setup」をクリックします。
3. 画面上の任意のUSER ASSIGNABLEキーをクリックします。
クリックしたキーに割り当てられているショートカットキーが画面の「Shortcut Key」—「Type in Key」欄に表示されます。(ショートカットキーが割り当てられていない場合は、空欄になります。)

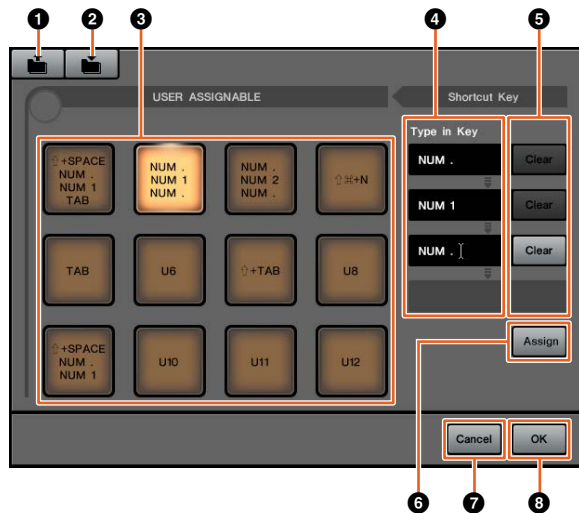
4. Type in Key欄に表示されているショートカットキー(または空欄)をクリックし、キーボードのキーを押します。

NOTE

- 1つのUSER ASSIGNABLEキーには最大4つのキーを登録できます。たとえば、[U2]に.(ピリオド)、1、.(ピリオド)、の3つのキーを登録した場合、[U2]を押すと、これらの3つのキーが順次押されたことになり、メモリーロケーション1が呼び出されます。
- Ⓜ(Command)、^(Control)、⇧(Shift)などのキーは、ほかのキーと組み合わせて登録します。
- ショートカットキーに使えないキーを押した場合、“Not Available”と表示され、そのキーは登録されません。

5. 「Assign」ボタンをクリックします。
ショートカットキーの変更が画面上のUSER ASSIGNABLEキーに反映されます。
6. 「OK」をクリックします。
ショートカットキーの変更がNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに反映されます。

User Assignable Setup画面



1 Open

保存されているショートカットキーの割り当てを読み込みます。

2 Save

ショートカットキーの割り当てを保存します。ショートカットキーの割り当ては".NPTB"ファイルとして保存されます。

3 U1~U12

割り当てられているショートカットキーが表示されます。クリックすると、Type in Key欄に割り当てられているショートカットキーを表示します。

NOTE

このボタンをダブルクリックすると、ボタンに任意の名前を付けることができます。

4 Type in Key

選択中のUSER ASSIGNABLEキーに割り当てられているショートカットキーが表示されます。Type in Key欄に表示されているショートカットキー (または空欄) をクリックし、キーボードのキーを押して、割り当てるショートカットキーを登録します。(「Assign」ボタンをクリックするまで変更は反映されません。)

5 Clear

ショートカットキーの割り当てを消去します。(「Assign」ボタンをクリックするまで変更は反映されません。)

6 Assign

Type in Key欄に表示されているショートカットキーを画面上のUSER ASSIGNABLEキーに反映します。このボタンをクリックすると、画面上のUSER ASSIGNABLEキーの表示が割り当てたショートカットキーに変わります。

7 Cancel

ショートカットキーの変更を破棄します。Nuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーの設定は変更されません。

8 OK

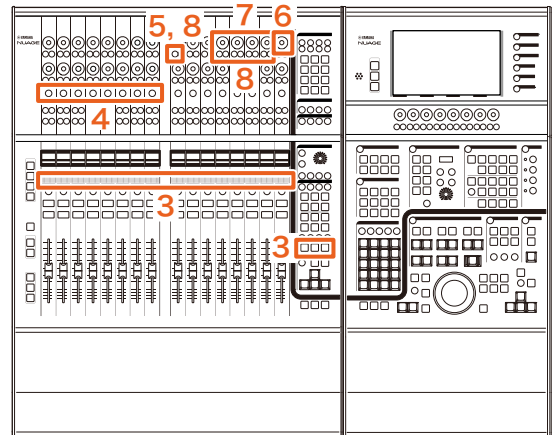
ショートカットキーの変更をNuage MasterのUSER ASSIGNABLEキーに反映します。

Avid Pro Toolsのインサートに対応 (Nuage Fader)

Nuage Faderで、Avid Pro Toolsの「インサート」を操作できるようになりました。任意のチャンネルに「インサート」したり、「インサート」のパラメーターを編集したりできます。

操作方法(インサートの割り当て)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの または をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Plug-in Panel」 をクリックします。

3. 「インサート」するチャンネルをNuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8内に移動します。

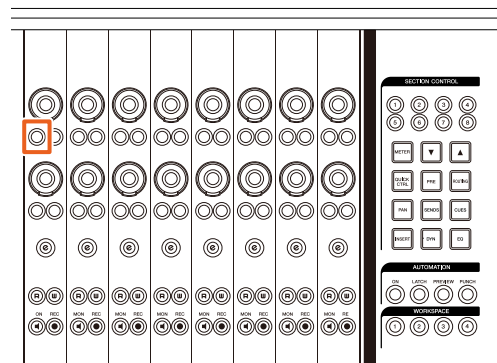
NOTE

複数のNuage Faderを使用している場合、左端のNuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8を使用します。

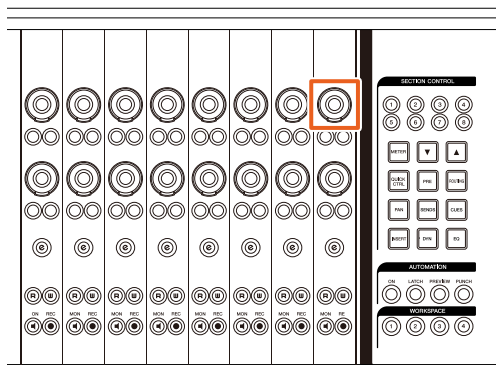
4. 移動した「インサート」対象チャンネルの[e]を押します。

5. 左から9番目の[マルチファンクションボタンA]を押します。

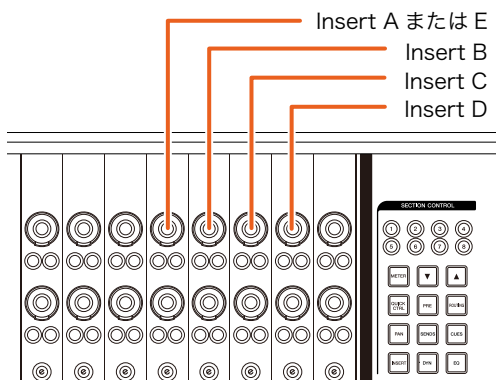
「ASSIGN」が赤く点滅します。



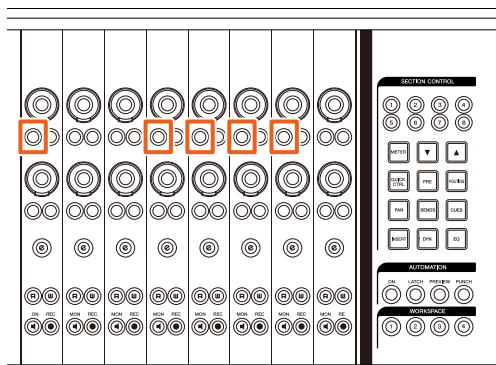
6. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、インサート先のグループA-DまたはEを選択します。
Plug-in Panel画面に「Insert 1-4」(A-D)または「Insert 5」(E)が表示されます。



7. [マルチファンクションノブ]を回してインサートを選択します。操作する[マルチファンクションノブ]は「インサート」先のスロットによって異なります。

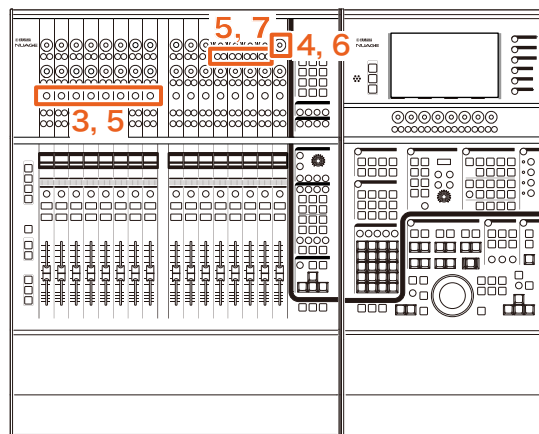


8. 左から9番目または「インサート」したチャンネルに対応する[マルチファンクションボタンA]を押します。
選択したインサートが割り当てられます。



操作方法(パラメーターの変更)

イラスト内の数字は手順番号を表します。



1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの または をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

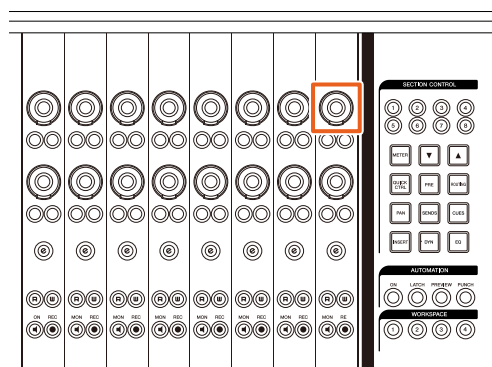
2. 「Plug-in Panel」 をクリックします。

3. パラメーターを変更する「インサート」をAvid Pro Toolsで選択します。

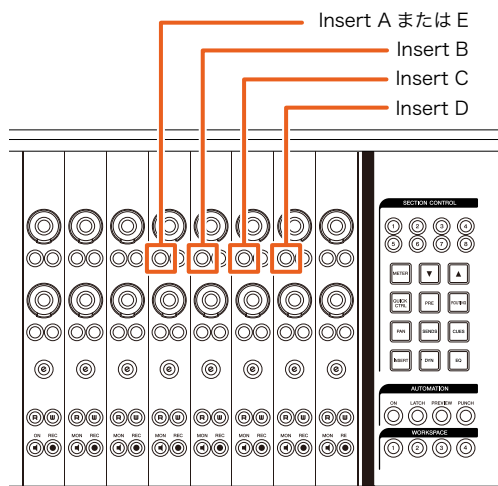
NOTE

Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1~8の[e]でも対象チャンネルを選択できます。

4. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、インサート先のグループA-DまたはEを選択します。
Plug-in Panel画面に「Insert 1-4」(A-D)または「Insert 5」(E)が表示されます。



5. パラメーターを変更する「インサート」に対応する[マルチファンクションボタンA]を押します。

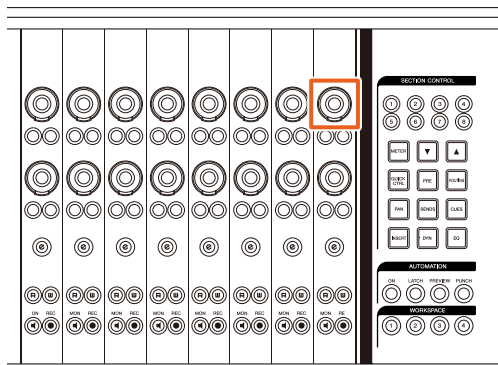


NOTE

手順4、5の代わりに、Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクション1～8の[e]をすばやく2回押すことでも、対応するチャンネルに「インサート」されているプラグインのパラメーターを呼び出すことができます。この場合、[e]をすばやく2回押すたびに対象となるインサートが切り替わります。

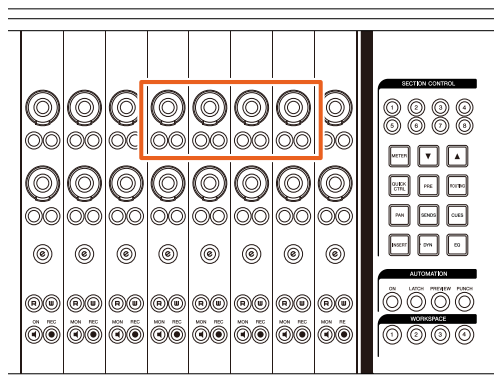
6. Nuage FaderのCHANNEL STRIPセクションの左から16番目(右端)の[マルチファンクションノブ]を回して、パラメーターを選択します。

同時に4つのパラメーターが表示されます。



7. パラメーターに対応する[マルチファンクションノブ]を回す、または[マルチファンクションボタン]を押してパラメーターの値を変更します。

変更した値は即時適用されます。



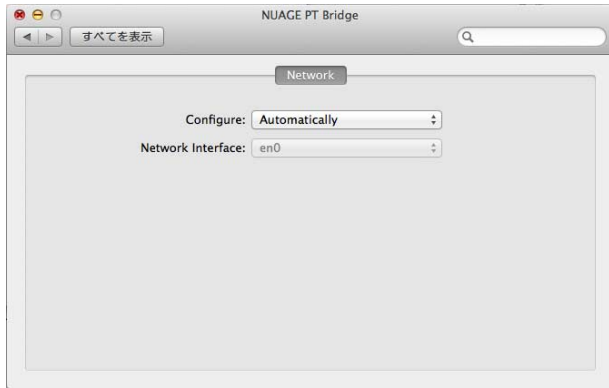
NOTE

- 左から10番目の[マルチファンクションボタンA]を押すと、パラメーター編集前と比較することができます。もう一度押すと、変更後の状態に戻ります。
- 左から11番目の[マルチファンクションボタンA]を押すと、「インサート」をバイパスすることができます。もう一度押すと、バイパスオフの状態に戻ります。



NUAGE PT Bridgeの画面の表示方法を追加/変更 (NUAGE PT Bridge)

従来、コンピュータの[システム環境設定]で表示していた下記の画面の表示方法を追加/変更しました。

Network画面



操作方法

1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの  または  をクリックします。

NOTE

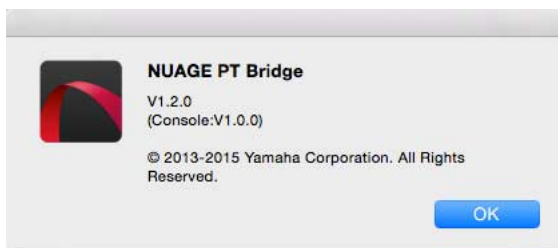
アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

2. 「Network Setup」をクリックします。



NOTE

従来の[システム環境設定]→[NUAGE PT Bridge]でも表示できます。

About画面



操作方法

1. Avid Pro Toolsを使用しているMacで、メニューバーの  または  をクリックします。

NOTE

アイコンが表示されない場合は、TOOLS for NUAGE内のNUAGE PT Bridgeをインストールしてください。

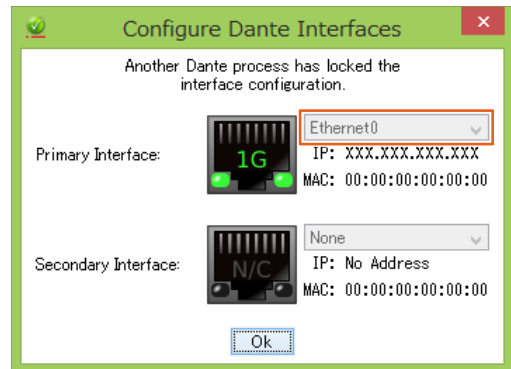
2. 「About」をクリックします。

Danteネットワークインターフェースのロック機能を追加(Nuage I/O)

NuendoまたはCubase起動中にDanteネットワークインターフェースが変更されないようにロックする機能を追加しました。

NOTE

NuendoまたはCubase起動中は、Dante Controllerのインターフェース選択のリストはグレー表示になり、選択できなくなります。



ダイレクトモニタリングの設定を初期化する機能を追加(NUAGE I/O)

NUAGE I/Oのダイレクトモニタリングの設定を初期化できるようになりました。

操作方法

画面内の数字は手順番号を表します。



- 1. NuendoまたはCubaseメニューの「デバイス」→「NUAGE I/O Setup」をクリックします。
- 2. 「Direct Monitoring」タブをクリックします。
- 3. 「Reset」をクリックします。

ダイレクトモニタリングの設定が初期化され、以下の優先順位で自動的にバスが設定されます。

優先順位1	Control Roomのバス
優先順位2	Outputsのバス

ヤマハ株式会社

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト:
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/>
ヤマハダウンロード:
<http://download.yamaha.com/>